

令和7年度第2回一関市廃棄物減量等推進審議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回一関市廃棄物減量等推進審議会
- 2 開催日時 令和8年3月6日（金）午後1時30分から午後2時40分まで
- 3 開催場所 一関市役所 会議室棟第2会議室
- 4 出席者
  - (1) 委員 佐藤和久委員（会長）、小坂和廣委員（副会長）、狩野勝彦委員、兜千尋委員、小野寺真澄委員、菅原寿基委員、吉川真理子委員、及川秀市委員、伊東たき子委員、村上誠志委員、佐藤勇一委員、北條喜久男委員、菅原幸子委員
  - ※欠席者 熊谷律子委員
  - (2) 事務局 菅原稔市民環境部長、宮野剛輔生活環境課長、佐藤寛幸課長補佐兼環境衛生係長、伊藤孝志生活環境課主任
  - (3) オブザーバー 一関地区広域行政組合 菅原彰一関清掃センター所長

5 議題

令和8年度一関市一般廃棄物減量実施計画（案）について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 2人（うち報道機関2人）

8 部長挨拶

本日はご多忙のところ、一関市廃棄物減量等推進審議会にご出席を賜り、本当にありがとうございます。

本審議会は、一般廃棄物の減量および資源化に関する重要事項についてご審議いただくため設置しているものであり、当市の廃棄物行政を推進する上で大変重要な役割を担っていただいております。

現在本市では廃棄物の減量化及び資源化を推進するため、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする一関市廃棄物減量基本計画を策定しております。

本計画は一関市総合計画の分野別計画でもあります一関市環境基本計画の個別計画に位置付けられているものであります。

この基本計画に基づき、毎年度具体的な取組内容を策定しているものが一関市廃棄物減量実施計画であり、本日は、令和8年度実施計画案についてご説明申し上げ委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えております。

また、来年度には令和9年度から令和13年度を計画期間とする次期一関市廃棄物減量基本計画の策定を予定しております。

委員の皆様には、その策定に当たりましても、専門的かつ、実践的なご見地からご審議をお願いすることになります。

さらに、現在進めております一般廃棄物処理施設整備に伴う収集方法の見直しにつきましては、一関地区広域行政組合を主体に、当市及び平泉町が連携しながら、検討しているところであります。

今後の収集方法や分別のあり方は市民生活に直結する重要な課題であり、よりよい制度設計に向け、幅広いご意見を賜りたいと存じます。

本日はご忌憚のないご意見、ご提言をお願い申し上げ、開会に当たっての挨拶といたします。

## 9 審議内容

令和8年度一関市一般廃棄物減量実施計画（案）を資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答。

委員 先ほどの有価物集団回収の件について、直近当社にも問い合わせあったが、去年からのクマ騒動で集団回収への影響はあったか。

事務局 回収事業については、令和7年度分は今現在集計中なので、まだ最終的な数字は出てないが、影響があったという連絡等はなかった。

委員 当社でゴミ収集作業をしているが、ゴミ集積所にクマがいるという情報は一つもない。一斉清掃なり、集団回収なりへの影響はないと思う。

事務局 令和5年から令和6年の減少というのは、高齢化と少子化という部分もあり、自治会とか子供会への参加率の減少が背景にあると思われる。

お配りしている資料で、有価物集団回収事業について、近隣の市町について調べたので、情報提供したい。

事務局から資料により有価物集団回収アンケートについて説明を行った。

委員 二つほど確認したい。

まず一つは 不燃ごみの最終処分方法を清掃センターに確認したが、不燃ごみで出されたものは、粉砕して埋めているということだったが、例えば石油ストーブを出したとして、これは資源になる。

2点目、ペットボトルのキャップを集めて資源にするときに、ニッコー・ファインメックでは30キログラムあれば集めに来てくれるが、少ない時に収集を市でやってもらうことはできないか。中学校などがキャップ収集に協力するというのもあり、それが子供たちのワクチンになると聞いている。

オブザーバー 不燃ごみを全て埋めていない。破碎した後に磁選機を使って鉄くずなどを回収している。ガラスとか陶磁器などは埋めているが、可能な限り回収して資源物として売り払っている。ペットボトルのキャップの取組はワクチンになるなど様々あるが、そこは現時点ではご意見として伺うが、まずは学校独自の取組でいいのではないかと思う。

委員 ペットボトルのキャップについて、ニッコー・ファインメックで県内どこでも取りに行くといっているのが30キログラム以上としているが、市内であれば会社のトラックが動いているので、言ってもらえば取りに行けると思う。

委員 宴会で乾杯の発声をやることが多いがその際には、30・10運動の協力を呼びかけている。スタートしたら30分は食べて、あとは飲んで、最後の10分間は食べ物を残さないように食べてくださいと話をしている。食品ロス対策で気になったのは、2番目の家庭における食べ残し、冷蔵庫クリーンアップで毎月10日はもった

いないクッキングの呼びかけを広報に掲載しているという説明だが、あまりこれを見かけてない。広報だけではなくて、少しお金をかけて、ポスターを作るとかチラシ全戸配布するとかした方が良いのではないか。

事務局 まだ計画段階だが、冷蔵庫にマグネットで留めて、冷蔵庫の中身などをメモできる食材管理リストを作る予定である。

委員 令和9年度以降の計画を来年度作ると聞いたが、その場合にごみの排出量というのはどの時点を出発点に考えるのか。

事務局 環境省から例年3月ごろ全国の排出量が公表されるわけだが、令和6年度実績が最新の数字ということになるので、そこからの予測となる。

委員 食品ロスのことに関して、食生活改善推進員と保健推進員が冷蔵庫の中に余ったものを利用したメニューを公表したが、食材管理リストのこともそうだが単発で終わってしまわないようにお願いしたい。

委員 今月の広報でモバイルバッテリーの廃棄方法に関するチラシが清掃センターから配布された。当社にもモバイルバッテリーの問い合わせが結構あるが、それについてのチラシを今回配布いただいた。これについて何かあればお願いしたい。

オブザーバー 三角（スリーアロー）のマークがついているものについては、量販店さんの方で取り扱ってくれているところもあるが、店舗数があまり多くはない。不燃ごみと一緒にパッカー車に入ってしまうと、そこで潰されたときの圧力などによって発火してしまうということがあるので、膨らんだものはできるだけ清掃センターに持ち込んでいただきたいというお願いのチラシを出した。

10 担当課 市民環境部生活環境課